

ASK ニュース

Vol.0244

2017年3月27日(月)

担当：MS事業部 中嶋

〒460-0002

名古屋市中区丸の内 3-22-21

損保ジャパン日本興亜名古屋ビル 1F

ASK 税理士法人

TEL 052-971-1122 FAX 052-971-4488

アンコンシャス・バイアス

はじめに

人は何げなく考えていること、話していることに固定観念や偏見をもっています。しかし、固定観念や偏見があると、日常のさまざまな場面で良くない影響があると言われていています。今回は、「アンコンシャス・バイアス」という無意識に持っている偏見について紹介します。

アンコンシャス・バイアス

人が物事に対して、考える以前に瞬時に浮かぶ先入観・固定観念を 無意識の偏見＝「アンコンシャス・バイアス」と呼びます。アンコンシャス・バイアスは、過去の経験や習慣、周囲の環境などから身につくもので、全ての人が持っているものと考えられています。

例として、次のようなものがあります。

「男性は車の運転が上手い」

「女性は料理が上手い」

「高齢者はパソコンが苦手」 など

もしかすると、自分は冷静に客観的に判断できるので偏見を持っていないと考える人がいるかもしれませんが、それも、自分自身に対する偏見だといえます。

アンコンシャス・バイアスによる障害

アンコンシャス・バイアスがあると、自分自身にとっても仕事上でも良くない影響が出ること

が分かっています。アンコンシャス・バイアスのままに判断していると、自分の視野を狭めてしまいます。新しいものを受け入れることができず、自分を成長させることが難しくなってしまうのです。

仕事では、生産性に悪影響が出ることがわかっています。例として「女性は控えめであるべき」という偏見が会社内に強くあると、女性は「意見は言わない方が無難だ」と消極的になり、結果として生産性が下がってしまうのです。

偏見を取り払うためには

アンコンシャス・バイアスを取り払うには、ロールプレイングやディスカッションなどを行い、どのような事例が偏見にあたるのかを自覚します。そして、その偏見をなくするための具体的な行動をとっていくことで取り払っていきます。

偏見は完全になくすことはできないと言われていますが、1つずつ取り払うことで、偏見による悪影響を少なくすることはできます。

おわりに

社員がより気持ちよく働ける職場づくりのため、生産性をあげるために、自社でどのようなアンコンシャス・バイアスがあるかを考えてみてはいかがでしょうか。偏見をなくすには、当事者だけでは難しい場合もあります。そんな際は、ASKではNLPコーチングも行ってまいりますので、ぜひご利用ください。